

保育所・認定こども園における子ども・家庭の相談支援強化ゼミ ～子どもの問題に気づいた時の保護者支援の多角的な視点を学ぶ～

1 目的

児童虐待や養育拒否等の重篤な子育てリスクや保護者の経済的困窮に起因する社会的な孤立など、何らかの支援が必要な家庭に対する支援の必要性が顕在化しています。

日々子どもや保護者と接している身近な保育所には、悩みや不安を抱え込んでしまう保護者の思いや、保育場面で感じる子どもの変化や違和感に気づき、子どもの養育だけでなく、子育て家庭全体を支援する役割が求められています。

そこで、子どもたちの見えにくいサインにいち早く保育者が気づく感度を磨きあげ、表面化する言葉や行動の真底を多角的な視点で把握して関わることを通し、地域社会における健やかな子どもの育みを構築することを目的に開催します。

2 主催 社会福祉法人青森県社会福祉協議会

3 後援 一般社団法人青森県保育連合会／公益社団法人青森県社会福祉士会

4 期日 平成31年1月28日（月）

5 場所 アピオあおもり2階 大研修室1（青森市中央3丁目17-1）

6 内容

時間	内容
10:20	開会
10:30～	説明・演習「児童虐待・子どもの貧困の実態と 保育者に求められる対応について」 県こどもみらい課 (虐待や貧困問題の実態を学習するとともに、保育者がそのサインに 気づくための演習を行います。)
12:00～	昼食（本会で準備いたします）
13:00～	講義・演習「保育者に求められるソーシャルワークの視点」 青森県立保健大学 講師 齋藤史彦 氏 県こどもみらい課 (子どもや保護者の言動が、どのような課題背景から生み出されるの か、把握する多様な視点を事例を通じて学習します。)
16:00	閉会

7 参加者 保育所・認定こども園等の主任・主幹職員や子育て支援担当職員等 50名程度

8 参加費 1人あたり2,000円（昼食代込み）

但し、「青森しあわせネットワーク」の参加法人の役職員の場合は無料

9 参加申込等

別紙「参加申込書」に必要事項を記入の上、平成31年1月18日（金）までに青森県社会福祉協議会へFAXでお申込みください。

参加費のある参加者については、1月23日頃に請求書を郵送いたしますので、期日までに参加費（1人あたり2,000円）をお振込ください。

なお、申込締切後の参加取消は、資料送付に替えさせていただくとともに、一度お振込いただいた参加費は欠席された場合も資料送付に替えさせていただきますので御了承ください。

【申込み・問合せ先】 社会福祉法人 青森県社会福祉協議会 社会貢献活動推進室（担当：葛西）
〒030-0822 青森市中央三丁目20番30号 県民福祉プラザ2階
TEL：017-723-1391（代表）/FAX：017-723-1394

10 事前課題

次の2つの出来事（事例1・事例2）を読んで、別紙「ワークシート1」に沿って、次の内容を記入してください。

- ・理由・要因（その出来事が起きた理由、要因で考えられること。）
- ・情報収集（その出来事が起きた理由や要因、その背景にある問題を理解するために、どこからどのように情報を集めますか。）

「ワークシート1」は、それぞれの参加者が記入して、それぞれ持参してください。

事例 1	事例 2
<p>Aくん（3歳）の父親はいつも明るく、保育園への感謝の言葉をかけてくれます。</p> <p>ある日、Aくんが園庭で遊んでいたところ、軽いかすり傷を負いました。迎えに来た父親に保育士が報告して謝ると、「ごめんなさいではすまない。先生はその時何をしていたんだ」と怒鳴りました。</p>	<p>Bくん（9ヶ月）は、午前中にミルクを与えても満足せず空腹を訴え、不機嫌な様子だったり、ぼーっとして気がなかったりと不安定な状況が続いています。</p> <p>5歳になるお兄ちゃんが年長クラスにいますが、給食の時間が待ちきれない様子で、かきこむように食べています。</p>

11 その他

- (1) 全日程を終了した参加者には修了証を交付します。
- (2) 申込書に記載の情報のうち、法人名、氏名、所属、役職名等については、参加者の情報共有等を目的に参加者名簿として参加者に配布します。掲載に不都合がある場合には、申込書の通信欄にその旨をご記載ください。なお、申込書に記載の情報は、研修に係る企画や管理、連絡等、研修開催の目的達成のみに使用し、他の目的に使用することはありません。本会での個人情報については、「社会福祉法人青森県社会福祉協議会個人情報保護に関する方針」に基づき、適切に取り扱います。

【会場案内】 アピオあおもり（青森市中央3丁目17-1）



青森市営バス

- JR青森駅 ④のりば
 - ・市民病院線、横内環状線、問屋町行き、浜田循環線、朝日放送行き、青森公立大学行き
 - 「働く女性の家前」下車徒歩3分
- JR青森駅 ④のりば
 - ・浪館・中央循環線（右回り）
 - 「アピオ青森」下車
- 国道4号線「市役所前」下車 徒歩8分

ワークシート1

参加者氏名

- 1 出来事（事例1・事例2）を読んでください。
- 2 理由・要因
その出来事が起きた理由、要因で考えられることをいくつでも記載してください。
- 3 情報収集
その出来事が起きた理由や要因、その背景にある問題を理解するために、どこからどのように情報を集めますか。思いつくことをいくつでも記載してください。

	事例 1	事例 2
1 出来事	Aくん（3歳）の父親はいつも明るく、保育園への感謝の言葉をかけてくれます。 ある日、Aくんが園庭で遊んでいたところ、軽いかすり傷を負いました。迎えに来た父親に保育士が報告して謝ると、「ごめんなさいではすまない。先生はその時何をしていたんだ」と怒鳴りました。	Bくん（9ヶ月）は、午前中にミルクを与えても満足せず空腹を訴え、不機嫌な様子だったり、ぼーっとして気がなかったりと不安定な状況が続いています。 5歳になるお兄ちゃんが年長クラスにいますが、給食の時間が待ちきれない様子で、かきこむように食べています。
2 理由 要因
3 情報 収集

※当日、忘れないで研修会場へお持ちください。

1月28日(月)開催

保育所・認定こども園における子ども・家庭の相談支援強化ゼミ
～子どもの問題に気づいた時の保護者支援の多角的な視点を学ぶ～

参加申込書

申込締切
1月18日(金)

1 申込者

法人本部市町村名	
法人名	
担当者職・氏名	
連絡先電話番号	

2 参加者

氏名	所属	役職名等

※記入欄不足の場合は、お手数ですがコピーして使用してください。

※申込書に記載の情報のうち、法人名、氏名、所属、役職名等については、参加者の情報共有等を目的に参加者名簿として参加者に配布します。掲載に不都合がある場合には、下記通信欄にその旨をご記載ください。

通信欄